

ご挨拶

磯田貴道

大会実行委員長

鵬玉会 京都支部 京都駅前場所長

ご紹介

無外真伝無外流居合兵法道 初段
第9回全日本居合道形選手権大会 無級の部 3位
第9回全日本居合道選手権大会 一般男子 ベスト8
京都くろ谷金戒光明寺 新選組160年記念 演武
筑前一宮宮崎宮放生会 演武
名古屋東照宮 奉納演武

記念すべき10回目の節目を考える



心血を注いで築き上げた歴史

本大会は10回目の節目を迎えました。今年も京都市ならびに京都市教育委員会によるご後援を、また協賛各社からのご支援を賜り大会を迎えることができましたことを心から御礼申し上げます。

節目は大会の「これまで」について考える機会です。毎年年初に武徳殿に集まり大会が開かれておりますが、これは決して当たり前のことではありません。

武田会長をはじめ鵬玉会の諸先輩方がゼロから始められ、心血を注いで築き上げてこられた歴史の積み重ねの上に成り立っています。参加選手が増え大会の規模が大きくなってきたことだけでなく、武道の聖地と呼ばれる武徳殿を会場に大会を行うこと、またコロナ禍で日常が奪われ、様々なことが不可能となる中でも大会を途絶えさせずに続けられてきたこと、どれをとっても簡単には成し得ない大変なことで、そういった困難を乗り越えて今日の10回目があることを忘れてはなりません。節目はまた、大会の「これから」についても考える機会です。これまでの

歴史の上に立っていることを肝に銘じながら、未来への発展のために新しい歴史を紡ぐ第一歩を踏み出す日です。

そしてその主役は我々一人ひとりで。大会は単に勝ち負けを決めるだけではなく、互いに切磋琢磨する場でもあります。武道の高みを目指す仲間と共に競い合い、様々な気づきが生まれ、その経験を持ち帰り日々の稽古を充実させ、次の大会でその成果を試す。この循環に加わる仲間がたくさんいてこそ大会が発展します。出場される選手の皆さんは、今日の経験を語ってください。そしてひとりでも多くの方を、大会を通じた成長の循環に誘ってください。これが未来の発展の第一歩となります。

流祖の辻月丹は京都で修業をし、さらなる高みを目指して挑戦するため江戸へ旅立ちました。これまでの修行を礎としながら、これからの未来へ向けて踏み出す決意をした場所がここ京都です。今我々も同じ場所に立っています。大会への出場を通じて流祖の覚悟に思いを馳せつつ、選手の皆さんの未来、大会の未来、鵬玉会の未来へ向けて大きな一歩を踏み出しましょう。